

美里町

忘安の板碑



美里町牛飼の「おうあん 應安のいたび 板碑」は、應安4年(1371)に
建立された、高さ3m69cm（地上部2m80cm）、
幅91cmの大きさを誇る大型の板碑です。また、その
字体の美しさ・力強さは見事なもので、がんぶん 願文表現に見ら
れる深い教養などからも、町内にも数ある板碑の中でも
群を抜いた逸品とされています。

あみださんぞん しゅじ 阿弥陀三尊を種子に奉じ、ほけきょう 法華經への信仰を立願して
いるといわれています。建立者は刻まれておらず不明で
すが、当時このような大型の板碑を建立することができ
た有力者が当地にいた何よりの証です。この頃は中世の
豪族大崎氏のいこう 威光が当地方まで及んできた時期であり、
建立者も大崎氏につら 連なる者である可能性が高いと考えら
れています。

梵
(阿弥陀)
字

梵
(聖観音)
字
於(カ)我閔度後

應レ受ニ持此經

是人於ニ仏道

梵
(勢至菩薩)
字

決定無レ有レ疑

應安四年辛時座□天冬敬白

諸且主等樂園隱龜之人身徳日域曇花之仏教□経解脱□□不
不聴声覚悟義不□如何就中四要品者法花之肝心品也

夫以一乗空□□□□代扶桑辺域塔婆観底月
昭濁世瀬涯之光底欲□冲規□測者歟伏惟僧俗二昧之

出穩之利会依之諸且主等毎年不闕此経本云為読誦者也仍
現世安穩後世□而無□□□□随而面々各々之所願一々

令成就□所□諸□靈必皆□処脱之益預□□□
仍乃至普皆平等拔濟故也□□之諸且施主等敬白